

春の拡大月間始まる

1900人の組合へダッシュ！ 交流して、仲間増やして



三多摩地域本部の小金井公園でのお花見

春の拡大月間が始まりました。

お花見交流会を各支部は計画して、1900人をめざして、各支部スタートしています。

大会までに目標をやり切り 1900人組織の実現を

拡大月間は、1月加入からのカウントで、目標142人に対し67人が加入、達成率が47%になります。江戸川が目標10人に対し12人の超過達成を築き上げました。続いて台東支部が目標5人を達成しています。

前年と比較すると少し早いペースで推移してはいますが、脱退も多くあったために、現勢は1,845人です。大会時（6/29）までにすべての目標をやり切り、1900人組織の実現を目指します。

**第96回
メーデー
2025**

**私たちの声を
届けよう**

今すぐ最賃
1500円に

車検・増税
NO!

給料
UP

くらしを守る社会に

ジェンダー平等

働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう

加入の特徴は、労働相談を契機とする加入が多数ですが、具体的な事案が発生する前に、組合に入っていることで安心を得ようとする問い合わせもいくつか見られます。

各支部は、定期的に宣伝を組み入れ、積極的に組合の存在をアピールしています

お花見で交流を

三多摩地域本部

三多摩地域本部は、予定していた4月6日を天候事情で、4月5日に繰り上げてお花見交流会を開きました。参加者が手作り料理を持ち寄って 例年通りの小金井公園で楽しく交流しました。（一面写真）

「桜を見る会」

CU文京支部

3月29日（土）には、CU文京支部主催で毎年恒例のレクリエーション、「桜を見る会」が行われました。

一日中、あいにくの雨でとても寒い中、文京区労協事務所で、伊藤弘シェフの手作り料理をつまみに、吟醸純米日本酒や焼酎やワインやソフトドリンクで長時間にわたり交流しました。前日に石巻から宅配された牡蠣を色々な食べ方で賞味しました。焼きそばや餃子やシュウマイやたこ焼など、とても美味しかったです。入れ代わり立ち代わりに仲間が到着して、差入れの料理や飲み物をすぐにお腹に消えていきました。参加者も話が弾み、即興で仲良くなれました。土曜日と言うこともあり、組合員の家族参加もあり、大いに盛り上がりました。

終了時には、全ての食べ物が完食となりました。とても楽しく、有効な一日を過ごしました。今年の桜は、寒い日もあってか、とてもきれいで、長持ちしていると思います。

（文京支部 小川富弘）

「15周年記念のつどい」成功に

江戸川支部

江戸川支部は、今年CU結成15周年を迎えま

した。記念すべき年の「春の拡大月間」では必ず拡大目標を達成しようと、執行委員会で確認し合いました。

毎月の支部ニュース、駅前宣伝で呼びかけたりする中、事業継承した障がい者グループホームの就労条件不利益問題を団交で是正した事で、そこで働く数人が新たに加入。また、以前雇い止めの問題解決させた組合員が、現在就労している職場で退職勧奨を受け苦しんでいる労働者に組合を紹介、加入して現在闘っています。民間保育園での残業不払い問題で、組合員が同僚を組合に誘い共に請求しています。

このように組合員が自らの労働争議を通じて、江戸川支部に信頼を寄せ組合加入を勧めてくれるケースが目立っています。直近では、執行委員とのつながりで江戸川区の福祉職場を退職した組合役員が加入してくれました。

15年10年という時を経てもずっと組合員でいて下さっている方々の支えがあって、今の江戸川支部があります。「15周年記念のつどい」（5/8）では、新旧組合員の交流を行い次世代に繋げる契機に行きたいと思っています（江戸川支部 新木輝代）

青年の加入がありました

CU台東支部

上野駅近辺で働く青年労働者からの労働相談で3人の組合員が加入しました。加入書をみながら感慨を新たにしましたが、「あと少しで2000年代生まれ」となる青年たちです。

古川橋病院 岩渕さん事件

港支部

3月26日（水）10時から、港支部の岩渕美和子さんの雇止め撤回を求める東京地方裁判所弁論が、517法廷（石川慧子裁判官）でありました。

労働契約法19条第2項の「有期労働契約の更新の更新への合理的期待」をめぐる争点が審議されています。次回は、5月19日（月）11時30分から517法廷です。



大いに期待したいと思います。

最初の電話では「会社都合の離職票を」というささやかな要求でした。しかし会って話を聞くと、「ライングループの中で、いじめを傍観した」として到底納得できない処分を通告され、「解雇、減給、異動」の選択を迫られたことへの反発、30分単位で切り捨てる労働時間への不満等々きわめてまっとうな要求を持ち、しかも社長に「説明してほしい」それを「録音をさせてほしい」と堂々と実行していました。

一方、他社と掛け持ちで働くことが、当たり前のように、転職を会社に通告しながら、勤務を続けるということが普通に行われていることも驚きではありました。

彼らはよく勉強しており、雇用保険の利用についても相当調べて行動していました。こうした労働者に対して労働組合がどのように役に立つ存在になるのか、考えながら活動することが必要だと痛感しています。

会社も労働基準法への理解はあり、団交ではあっさり違法部分を認め、円満な退職手続きに合意して解決をみました。

(台東支部 山田三平)

《活動報告》

【4. 15千代田総行動にてA G C本社・日本学術振興会社前で 抗議行動を展開】 ユニオンちよだ

4月15日、ユニオンちよだは、千代田総行動（千代田区春闘共闘委員会主催）に参加しました。この日は朝から神田、市ヶ谷、九段下、小川町、霞ヶ関、虎ノ門駅頭でスローガンや要

「CU東京 15年」

第7回 高橋 孝（港支部）

港区の特徴は東京の中心区の1つで企業や大使館、有名大学などが多く集まり、テレビ局が集中しています。JR高輪ゲートウェイ駅前をはじめ大型開発があちこちで行われ、昔から住んでいる住民や工場が移転させられています。また、高輪築堤跡など多くの文化遺産が埋蔵されています。

未組織労働者は東京都の組織率で推定すると約70万人でこの未組織労働者の組織化が以前から議論されてきました。しかし、具体化が進まない中、暗中模索している時にCU東京が誕生しました。

これを機に東京土建港支部の仲間とともに11人でCUみなとを結成しました。労働相談活動を中心に取り組み、新橋駅前の公園での「なんでも労働相談会」を弁護士事務所や民主団体と協力して開催するなか現在50人を超える組織になりました。

現在、古川橋病院の「雇止め」撤回の闘いや外資系会社の「雇止め」、「社長の横暴」での解雇撤回に取り組んでいます。最近は新たな相談より組合員の相談が多くなっています。また、活動の中心は高齢化がすすみ、後継者つくりと財政確保が最大の課題になっています。

こみゅーとニュースなど組合員の皆さんに様々な情報をお知らせします。公式アカウントのお友達登録を、お願いいたします。





求を記載したビラを撒きからスタートしました。昼は、MIC共催の神保町デモがあり、25春闘要求「物価高を超える賃上げ・最賃1500円以上に！」等をスローガンに掲げ、80人が参加しました。

午後、ユニオンちよでで争議中のAGC本社前で、Aさんへの不当解雇撤回を求め、抗議行動を行いました。人事部に対し、要請書を渡そうとしましたがAGCが拒否してきました。その後、麴町にある独立行政法人 日本学術振興会に移動し、Bさんの雇止め撤回を求めて抗議行動を行いました。対応した法人側役員に対し、不誠実な団体交渉を改めるように注意し、早期解決に応じるよう要請書を読上げ手渡しました。3月の総行動に続き2度目の抗議行動です。

AGCも日本学術振興会も警備員を増員してきましたが、千代田総行動が解決につながることを期待しています。

(ユニオンちよだ 書記長 鈴木 明彦)

組合費納入 ご協力のお願い

組合費は労働者の権利確立と労働条件向上の運動発展、助け合いの共済事業のために必要な原資です。

組合費・共済費の口座引き落としは毎月22日です。土日祝日の場合は翌営業日になります。滞納の際は翌月以降に繰り越されて累積される仕組みですので、ご注意ください。引き続いてのご協力お願いいたします。

「多摩動物園交流会」 女性会議

4月13日は、「東京都多摩動物園」での交流会でした。あいにくの雨でしたが、10の方が参加されました。屋根のあるウォッチングセンターで交流会をしました。



4月は何かと名前を書く機会が多い。最近是客户ハラスメントやストーカー対策のために名札を付けないこともある。スーパーで「タイミー」なる名札を見かけた。スキマバイト・タイミーで短時間働く人だが店内ではタイミーさんと呼ばれているらしい。人格を貶められる感がある■コンビニのカタカナ名札には慣れてきた。留学生バイトは流暢な日本語で動作も早く重要な働き手だが、低賃金が心配だ。大分県内のコンビニで店長を務めていた38歳の男性が22年に自殺、6カ月間で一日も休日がない連続勤務を原因とした労働災害と認定された■リモートワークの時間管理が曖昧だとされ、裁量労働導入の口実となり、労働時間規制を骨抜きにしようとも財界や厚労省が目論む。兼業副業の時間通算をやめ、8時間超えても割増賃金の対象としないことも検討されている■スキマ時間でもわずかな収入を得、ダブルワークしなければ生活できず、死ぬほども働かざるを得ないのに、名前の無い機械のごとく使おうとする。